

【緑化協会】

- (1) 設立目的：①民有地の緑化及び緑地保全を促進し、並びに緑化思想の普及啓発、動物とのふれあい促進を図ることにより福知山市における自然環境保護を推進する  
 ②児童の科学振興、スポーツ・レクリエーションの振興、地域振興を目的とする公園施設管理をすることで、福知山市の児童の健全な育成や快適な生活環境づくりに寄与する
- (2) 事業内容：①都市緑化基金の造成、管理運用、民有地の緑化、樹木等の管理      ②都市緑化に関する調査研究、普及啓発      ③植物園の運営管理及び緑の相談所事業      ④都市公園、動物園、児童科学館、体育施設等の管理運営

項目	中期経営計画	取組内容	取組内容	評価結果
目的性	○協会スローガンである「花と緑のまちづくり」を展開していくための長年の取組は、市民や地域団体等にも広く認知され、当協会が関わる特徴ある3施設（緑化植物園・児童科学館・動物園）でより一層魅力的かつ発信力ある事業を展開するための連携や、設立目的の達成に向けた新規事業を行う。	<p>●指定された『公益目的事業』を行うことによる社会貢献</p> <p>【R5取組】</p> <p>①設立目的に掲げる「民有地の緑化及び緑地保全」及び「緑化思想の普及啓発」に資する事業実施。                      (3事業：プランター配布、民有地緑化助成、緑化啓発イベント)</p> <p>②設立目的に対応し、各施設や事業特性を踏まえた解りやすい定量評価指標を策定する。（「自然環境保護の推進」及び「児童の健全育成と快適な生活環境づくり」）</p> <p>●その他の公益目的事業の取組                      「自然環境保護の推進」及び「児童の健全育成と快適な生活環境づくり」</p> <p>③-1都市公園の運営管理                      (快適な生活環境づくり)</p> <p>③-2植物園の運営管理及び緑の相談所事業                      (自然環境保護の推進)</p> <p>③-3動物園の運営管理                      (自然環境保護の推進) (児童の健全育成)</p> <p>③-4科学館の運営管理                      (児童の健全育成)</p>	<p>・「市民の花苗植付隊」による丸鉢寄せ植えづくり等の実施                      (プランター貸出事業)</p> <p>・「緑化まつり」での花苗1,000株のプレゼント                      (民有地緑化助成)</p> <p>・市民を対象に花木苗木700本の無料配布事業等を実施                      (民有地緑化助成)</p> <p>・植物学者・牧野富太郎博士にまつわる特別講演会                      (緑化啓発イベント)</p> <p>・市内小中学校等29校(園)へのチューリップ球根1,750球の配布と植付け指導を実施(緑化啓発イベント)</p> <p>・事業評価としての定量評価指標については、市が策定する緑化計画に整合できるよう調整中(指標策定)</p> <p>・公園や緑地においては、危険な樹木の伐採や剪定、公園遊具の定期点検の実施など、公園利用者にとっての安心で安全な憩いの空間となるよう、環境整備に努めている。                      (都市公園の管理運営)</p> <p>・植物園では、緑の相談所として、庭木や花木、草花等に係る植物相談を行っている。また、定期的に植物観察会を実施しており、稀少な植物の発見や保護等の役割も果たしている。                      (植物園の運営管理及び緑の相談所事業)</p> <p>・動物園では、亀岡市以北の野生鳥獣保護施設として、年間を通じて様々な野生動物の保護を行っている。                      (動物園の運営管理)</p> <p>・科学館では、自然科学協力員会と連携し、季節毎の星空観察会や探鳥会などのフィールドワークを実施している。(科学館の運営管理)</p>	<p>一次評価 (団体自身の評価)</p> <p>当協会は、法に基づく公益法人として社会貢献(不特定かつ多数の者の利益を増進)することが責務であり、常に改革を意識しながら事業に取り組んでいる。                      令和5年度については、前年度事業を深化させる方向で次の取組みを実施することにより所期の目的を一定達成できたものと考えている。</p> <p>○福知山公立大学との連携協定2年目としてホームページの保守のほか、学生記者による動物園情報の動画配信(SNSほか)を展開した。                      ○10月の「緑化まつり」では、イベント内容をコロナ禍以前に戻し、キッチンカー等を誘致したミニマルシェ等を開催するとともに、「第30回記念まつり」として、植物学者・牧野富太郎博士にまつわる特別講演会の開催や「市民の花苗植付隊」による丸鉢寄せ植えづくり等を行った。そのほかにも、市内小中学校等へのチューリップ球根配布事業や毎年1,000通超の応募がある花木苗木の配布事業など充実した事業展開が出来た。                      ○独自事業の参加料金見直しや物品販売の強化等により収益増を図った。                      ○販売事業等の収益金から100万円を新たに緑化基金に増額積立てを行うとともに、基金運用面としては、前年度同様、市中銀行の定期預金からグリーンボンド関連の債券(地方債)に預け替えを加算した。                      ○動物園における野菜くずの堆肥化事業の継続実施、児童科学館における「地球温暖化への気付き」をテーマとしたSDGs特別展示(VRシアター体験、パネル展示)等を実施した。</p>
				<p>二次評価 (市所管課評価)</p> <p>○公園施設や緑地の管理・運営を通じ、都市の景観や環境の保全、地域や学校と連携したさまざまな取り組みや活動による地域コミュニティの形成、誰もが楽しめる工夫を凝らした講座やイベント等の実施による賑わい創出等、公益法人として、広く社会に貢献していると考えている。</p> <p>○債権運用をさらに進めるだけでなく、新たに自主財源の中から緑化基金への積立を開始したことを評価する。引き続き安全に積極的な資産運用に取り組んでいただきたい。</p> <p>○グリーンボンド関連の債権での資産運用や、動物園の残渣の堆肥化事業の継続などSDGsを意識した取り組みを更に進めていただきたい。</p>
採算性	<p>○三段池総合体育館及び武道館の管理運営について、令和3年度より(一財)福知山スポーツ協会と連携しスポーツ競技の専門性を活かした事業の実施にも取り組んでいる。引続き、当協会の経験やノウハウと融合させ魅力的な事業の企画や誘致等により自主財源確保に向けて自主事業に取り組む。</p> <p>○当協会設立後、10年間は行政からの出えん金により都市緑化基金を計画的に造成してきたが、その後当協会独自の積み立てなどは進んでいない。今後は、当協会適切に基本財産を運用し、運用益を原資とした自主事業を実施する。</p>	<p>●法人としての社会的信用力を担保した事業運営</p> <p>【R5取組】</p> <p>①指定管理事業以外での自己収益の確保(「自主事業による収益増」及び「有料講座の参加料見直し」)</p> <p>②特定資産(整備基金・緑化基金積立資産)の計画的な積み増し及び運用</p>	<p>・各施設における物品販売等を積極的に実施した。                      販売収益事業の収支増 R4:4,489,062 R5:5,794,542                      (R3⇒R4 +1,169千円、R4⇒R5 +1.305千円)                      (自主事業による収益増)</p> <p>・有料講座や出前講座について、講師料、場所代、材料費などの見直しを行った。                      見直しを行った講座数 R4:8件、R5:5件                      (有料講座の参加料見直し)</p> <p>・都市緑化基金の一部について、債券運用額を1,000万円加算した。                      債券運用額                      R4:1000万円                      (大阪市第1回公募公債 5年満期一括償還 0.284%)                      R5:1000万円                      (静岡県第2回公募公債 5年満期一括償還 0.324%)                      計:2000万円                      (特定資産の計画的な運用・活用)</p>	
その他	<p>○多様化する人々の価値観の中、国際的潮流であるSDGs(「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現)を根底に、行政機関、自治会等の地元関係者や各種企業・団体、市民等との連携を深め、高いホスピタリティの下、自然寛容を生かした北近畿有数のアミューズメント施設として本市ならではの豊かな生活を実感できる環境づくり及び地域アイデンティティの形成等に貢献する。</p>	<p>●国際的潮流であるSDGsを根底とした取組</p> <p>【R5取組】                      SDGs(「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現)の積極的な発信</p>	<p>・グリーンボンドでの基金運用を加算した。</p> <p>・動物園からでる野菜くず等の堆肥化事業の継続実施。</p> <p>・児童科学館で「地球温暖化への気付き」をテーマとした特別展示を実施した。</p>	<p>○都市緑化の啓発や推進の取り組みの成果は、定量的に評価することは難しいが、今後も引き続き多くの市民や団体と協力し、持続的な発信を市も共に進めていきたい。</p>